



特集2

金城学院高等学校「新・地塩館」

充実した設備で 主体的な学びを支援

高校の新校舎「地塩館」がこのたび完成、
昨年12月17日には献堂式が執り行われました。

高校の中心である栄光館との調和を大切に、充実した学習設備も備えた地塩館に
込められた思いについて、深谷昌一校長にお話を伺いました。

知的好奇心を育て 学院の文化を創る

地塩館は生徒たちの新たな学力
育成の場であり、生活の場でもありま
す。今回の地塩館建て替えでは、第
一に生徒たちが自由にのびのびと健
やかな高校生活を送ることができるよ
うな空間作りを大切にしました。吹き
抜けを中心に口の字型で各教室が

結ばれた構造は風が通り抜けるだけ
ではなく、万が一の場合に生徒たち
が速やかに避難できるよう、安全を
考えた設計にもなっています。また新
しい教育に対応できるよう各教室には
プロジェクターとスクリーンを設置、図
書館とプレゼンスペースを備えたメ
ディアライブラリーは、生徒たちの知
的好奇心や探究心を育成する学び
の中心として新設しました。



深谷昌一 校長

金城学院高等学校「地塩館」の歴史



1889年 下堅杉町に女学専門冀望館を創立

1900年 白壁4丁目に校舎を移築

1934年 地塩館竣工(木造)

1936年 榮光館竣工

1945年 空襲により校舎全半壊

1948年 地塩館竣工(木造)
1950年に増築

1963年 地塩館竣工(コンクリート東側3教室)
1971年に増築(コンクリート西側7教室)

2015年 地塩館竣工



正面エントランスに刻まれたスクールモットー
「主を畏れることは知恵の初め」



エントランスホールには
エラ・ヒューストンの言葉が記されています
「You must have dignity.」

竣工

1年生の階は“信仰”のブルー、2年生は“希望”のグリーン、3年生は“愛”のピンクで内装されています。これらの色は聖書から引用されており、すべて生徒たちが考えて決めたものです。金城学院の中高教育スローガンである「自立・自律・連帯」を実践し、みんなで知恵を出し合って考え、決めたことは生徒たち自身の喜びにつながると同時に地塩館の歴史の一コマとなり、金城学院の文化となって後輩たちにも語り継がれていくことと思います。

榮光館との調和を考慮 新しい歴史を刻む場に

今回の建て替えに伴う旧地塩館の取り壊しにあたり、生徒たちは「先輩た

ちも大切に使ってきた校舎だから、最後はきれいに掃除をしてお別れしよう」と全員で掃除を行いました。卒業生たちの思い出がたくさん詰まった地塩館の歴史の重みを感じ、大切にその豊かな心をいつまでも持ち続けてほしいと願っていますし、そういうみずみずしい感性を育む場にしていかなければならないと考えています。

またこれらのこととは別に、もう一つ重要視したのは金城学院の原点である榮光館との「調和」です。榮光館では毎朝礼拝を行います、生徒たちが神様に祈りを捧げる敬虔なその時間と環境をよりすばらしいものにしたと考え、陽光がたっぷりと降り注ぐように、榮光館と地塩館との距離や高さを緻密に計算してもらいました。また

榮光館の北側にある世光館も榮光館での礼拝を厳かで静かな時間にするために、外界の音を遮断する役割を果たしてくれています。さらに地塩館の外観の色調も、オフホワイトの榮光館に合わせた優しい色合いに仕上げられています。

このように充実した設備を備え、榮光館との調和も図られた新しい地塩館はまさに神様の愛に優しく包み込まれるようなすばらしい建物となりました。生徒たちはここで豊かな思考力や表現力、判断力を育てていきます。ここにまた、数え切れないほどの思い出が刻まれていくことでしょう。

新たな歴史を歩みはじめた地塩館での高校生活が、生徒たちにとってより充実した日々となることを願っています。

科学的思考・表現・協働する力を育成

教室の設備を充実させ 主体的な学びを支援

新しくなった地塩館の普通教室は、生徒たちが優しさに包まれて学べるようにすべて無垢材のフローリングで仕上げられています。全教室にはプロジェクター・スクリーンが設置され、各教科の授業での資料提示や、生徒たちによるプレゼンテーションなどに使用されています。また、アクティブラーニングによって、生徒たちの主体的な学びを促し、科学的思考・表現や協働する力を育みます。



普通教室



知の中心となる メディアライブラリー

新しい地塩館に備えられたメディアライブラリーは、9万冊の蔵書だけではなく、プロジェクターやPC、AVコーナーなどを備えた学びの中核場所となっています。

図書コーナー、閲覧スペース、学習

スペース、プレゼンスペースに分かれ、各教科の探究型の授業に活用されています。また、2クラス分の人数が収容できるため、合同授業の場としても利用されています。

ほかに『Dignity』の授業で使用できる書籍も充実しており、AVコーナーでは映像による教材を使用することもできます。グループディスカッションなどが行える広い場所を備え

ているのも特徴の一つで、ラーニングコモンズとしての機能も持っています。

さらに始業前や授業後は、自主学習の場としても開放されています。メディアライブラリーには自由に利用できるPCを25台備え、無線LANにも対応しています。そのため、調べ物や資料の作成が授業と同じ場所のできる利点があります。



AVコーナー



質問室



質問室の利用は18:00まで。原則、教師が対応する場合のみ利用が可能となる。放課後以外でも質問する生徒が多く、学びに対する熱心な姿勢が窺える。

質問室や特別教室も充実 きめ細かな配慮も

新校舎には、勉強でわからないことを先生に質問できる質問室も新しく設けられました。以前は職員室の前に机を並べて先生方が対応されていましたが、生徒たちの熱心な姿に、今回独立した部屋を設けることになったのです。特に試験前は多くの生徒が利用しており、金城生の学びに対する意欲的な姿勢が窺えます。

ほかにも書道と美術が共同で使用できる芸術教室や、ドラフトチャンバー

が備えられている理科室など、特別教室も機能が充実。AV教室には各机にノートパソコンが備えられ、大変利用しやすくなっています。また収納も可能なので、別の用途で教室を利用することもできます。こうした各教室の設計には全教員が参加。授業の内容に適して生徒たちの学習意欲がより高まるような教室作りが行われました。

さらに各廊下の手洗いスペースには、鏡を多く取り付けた洗面台も広く確保してより利便性も向上、女子教育を行う場としてふさわしいきめ細かな配慮もなされています。

生徒の声

メディアライブラリーは以前より広くなり設備も充実しているので利用しやすくなりました。
『Dignity』の授業で使う
パワーポイント資料作りに活用しています。

教室などすべてがとてもきれいになって嬉しいです。
これから大切に使っていきたいと思います。

メディアライブラリー



閲覧スペース(手前)とプレゼンスペース(奥)

地塩館新校舎紹介



教室前廊下



コンピュータ室



理科室



デッキスペース